

平成二十九年 度

浜松学院大学

同窓会だより



浜松学院大学校歌

後藤一夫 作詞

奥村唯夫 作曲



と お か い の あ さ あ け も 一 え 一 て あ
ひ お く まし の かい が や き お が 一 け 一 に あ
す の し お の い ま さ け が 一 け 一 て す

お り そ う の か ぜ か お 一 り え い ち の い ず み
い と ま そ う の は か なて の た 一 ね つ い ち う あ せ の
す む ぶ ん か の の か を う 一 み の そ か み は た か く

ふ き 一 あ げ る わ れ ら の ち か ら
ひ と 一 つ ぶ な る わ れ ら の い の め ち
む ね 一 に な る わ れ ら の し め い

こ こ に た つ じ し の が く え
あ す お い ゆ く こ の ゑ め り た つ ほ し の が く え
き す お い ゆ く の ゑ め り た つ ほ し の が く え

ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く
ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く

校歌

後藤一夫 作詞
奥村唯夫 作曲

一、

東海のあさあけ燃えて
あおぐ理想の風かおり
英知の泉ふきあげる
われらの力
ここに立つ 挙りたつ

自主の学園 ああ
浜松学院大学

二、

曳馬野のかがやく丘に
愛とまことの花のたね
培う汗の一つぶが
われらのいのち
あすを呼ぶ 夢を呼ぶ
誇る学園 ああ

浜松学院大学

三、

世の潮にいまさがけて
すすむ文化の糧をうみ
のぞみは高く胸に鳴る
われらの使命
勢いゆく のびてゆく
栄えの学園 ああ

浜松学院大学

平成二十九年度 浜松学院大学同窓会

総会・懇親パーティ次第

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、理事長挨拶
- 四、学長挨拶
- 五、議事
 - ・平成二十八年度事業報告及び会計報告
 - ・平成二十九年度事業計画及び予算
 - ・新役員について
- 六、閉会の辞
- 七、懇親パーティ
 - 【1部】コンサート
「ホベルト&ミカ」ライブコンサート
 - 【2部】パーティ
 - 【3部】ビンゴ大会

「ホベルト&ミカ」ライブコンサート

美しいメロディ、胸に響くリズム。

世界を魅了したボサノヴァ名曲たちの世界

今年の浜学同窓会のパーティは、いつもと趣向を変えて、おしゃれにライブコンサートを企画しました。

浜松市に縁のあるブラジルで生まれた「ボサノヴァ」の美しいメロディ、胸に響くリズム、柔らかくリズムカルな歌声で世界を魅了した、夫婦デュオ「ホベルト&ミカ」さんのステージをお届けします。

夫のホベルトさんは、NHKのど自慢チャンピオン大会で優勝したほど、日本の歌のレパートリーも多く、ボサノヴァから日本の歌謡曲、演歌まで、幅広い年齢の方々にお楽しみいただけるコンサートです。



ホベルト・カザノバ

ブラジル サンパウロ出身。幼少より日本人街に住んでいたことで、日本の文化や音楽に関心を持ち、日本のポピュラー音楽や演歌などを歌い始める。2006年、ミカさんとの結婚を機に日本で暮らし始め、2010年NHKのど自慢チャンピオン大会で優勝。

レパートリーはボサノヴァから日本の歌まで幅広く、日本とブラジルの架け橋として活動。

ミカ・ダ・シルヴァ

静岡市出身。ガットギターにのるポルトガル語の美しい響きに魅了され、ボサノヴァに開眼。2005年単身ブラジルに渡り、現地でポルトガル語を習得、ギターでの弾き語りを確立する。

柔らかくリズムカルな歌声が評価され単独ライブの開催やCDもリリース。

現在、日本とブラジルを行き来して、テレビやラジオのパーソナリティ、コンサートなどをこなし、ブラジル文化を広める活動をしている。

佐々木優樹（ギター）

焼津市出身。ジャズ、クラシック、ロックなど世界中の様々な音楽を聴き演奏し、2012年「Godin Player's Competition ゴダン特別賞」を受賞。静岡を拠点に演奏活動をしている。

イデノ アツシ（パーカッション・ドラムス）

DJ時代に培ったアレンジや楽曲構成力の特異なセンスが、パーカッションやドラムの演奏に活かされている。レコーディングからライブ演奏など様々な場面で活動。



同窓会会長

伊藤 安男

会長あいさつ

日頃、同窓会会員の皆様方には、ご支援、ご協力、ご理解を賜り誠にありがとうございます。本学が地域で愛され、信頼され、期待されるような存在となるため、同窓会として様々な事業を企画してまいります。浜松の人口80万人とすれば、卒業生が2万人でありますので、40人に1人は、本学の卒業生であり、母校の発展に期すること、同窓会の充実、発展に繋がるものと思っております。

大学の地域共創学科は「地域政策専攻」「観光ツーリズム専攻」「グローバルコミュニケーション専攻」の3専攻があり、昨年、地域共創学科の学生が北遠フィードスタディとして春野勝坂地区において、地域住民の方々と一ヶ月の間交流し、耕作放棄地の開墾やそばの育成、勝坂茶屋の再開の準備、400年以上続いている伝統文化の継承などを体験し、地元住民「15世帯」との信頼関係を築いて帰ってきました。

子どもコミュニケーション学科では、9名の学生がフィリピンのダバオ市において、フィールドスタディを行い、フィリピンの文化や、現地の日系幼稚園、小学校での授業活動

参観やボランティア活動で子ども達と触れ合い、また教職員との意見交換、日系住民との交流を深めるなど、将来の自分が大きく変わる体験、研修をして帰国しました。同窓会として、このフィールドスタディに対して寄付による支援をさせていただきます。

また、短期大学の幼児教育科が今年で開設50周年を迎えます。約1万名の学生が卒業して、浜松市内、また近近において活躍しております。8月5日にはホームカミングデーを開催し、多くの卒業生を招くための準備が進められています。

そして、部活動を通して人間性や社会人基礎力を身に付けるため、大学にバスケット部を創設して、プロ集団「三遠ネオフェニックス」と提携を致しました。バスケット部に多くの学生が入部することを期待しています。

最後になりましたが、個人、企業の方々からの広告掲載のご協力に対し御礼申し上げますと共に、同窓生の皆様には母校に対してご支援、ご協力をお願いすると共に、誇れる母校への進学を勧めていただくよう、友人知人等にお声を掛けていただきたくお願い致します。



浜松学院大学
浜松学院大学短期大学部
学長

石田 勝義

ごあいさつ

浜松学院大学同窓会会員の皆様、いつも母校に対してお心遣いを賜り、厚く御礼申し上げます。ご壮健のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年4月に学長に就任して1年が過ぎました。本学の魅力と卒業後の展望を明確に打ち出し、受験生とその親御さんが一人でも多く本学を受験して貰えるように、教職員一同一所懸命に取り組んでおります。

短期大学部は幼児教育科を開設して、本年は50周年を迎えます。半世紀もの間、この地域の幼児教育教員の養成に務めてまいりました。私も教職員一同大きな喜びでございます。本年8月5日（土）に周年行事を用意いたしました。ぜひご参加をお待ち申し上げます。

現代コミュニケーション学部では、長期学外学修として、フィリピン共和国ダバオ市の特別支援学校や天竜区春野町勝坂地域にそれぞれ1か月間滞在して、学生

たちは多くのことを学びました。フィールド先の皆様から本学の学生の一所懸命に取り組む姿に多くのお褒めの言葉をいただきました。本年度も長期学外学修を行って参ります。

平成30年度にバスケットボール部を創設するために着々と準備を進めています。幸いなことに、プロバスケットボールクラブでBリーグ強豪の「三遠ネオフェニックス」を率いる(株)フェニックスの浜武恭生代表取締役社長様のご理解とご協力により「三遠ネオフェニックス」が全面支援をしていただく提携を結びました。4年制大学らしい新しい取り組みを始めます。

同窓生の皆様にとって誇れる大学であり続けるように日々精進いたします。今後共ぜひ、皆様の物心両面にわたるお力添えをお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓会の益々のご発展と皆様の益々ご健勝を心からお祈り申し上げます。

浜松学院大学同窓会 平成28年度事業報告

本同窓会は、会員相互の親睦を図り、大学の発展に寄与することを目的として、次の事業を行った。

1. 同窓会総会・懇親会の開催

平成28年7月3日（日）、同窓会総会を開催した。平成27年度の事業報告、会計報告、平成28年度収支予算を提示した。講演会ならびに懇親会は企画委員会により企画され、来賓を含め110余名の参加者であった。

2. 同窓会報の発行

同窓会活動や収支決算報告、大学・短大の近況報告などの広報を目的とし、広報委員会において企画・編集作業を行った。平成28年度総会開催に合わせて発行し、出席者および協力企業等への配布を行った。

3. ホームページの更新

広報委員会において、同窓会Webサイトの更新を行った。

4. 会員情報管理ソフトの購入

会員データの検索、異動（住所変更等）など、事務局で修正できるようにソフトを購入した。直接DM発送が可能となるなど、今後の活用方法を検討した。

5. 理事の補充

新たに1名の常任理事、5名の理事、特別顧問1名の就任について理事会で承認された。併せて各委員会の委員について会長より発表があり承認された。

6. 寄付・寄贈

大学・短大への教育支援について寄付。学園祭実行委員会に抽選会景品を寄贈。学園祭模擬店出店売上金を学友会に寄付。卒業生に卒業証書ファイルを寄贈。卒業パーティー実行委員会に資金援助。

7. 諸会議および行事参加・列席

正副会長会、常任理事会、理事会の開催および必要に応じて各委員会を開催し、議題および事業遂行について協議した。また、大学学園祭への模擬店出店のほか、式典等への招待に対し正副会長が列席した。

日時	会議・行事
平成28年	
4月3日	大学・短大 入学式
13日	会計監査
21日	理事会
5月19日	平成27年度収支決算・事業報告 平成28年度収支予算案 平成28年度総会について 常任理事会
6月16日	平成28年度総会について 理事会
7月3日	平成28年度 総会・懇親会
8月16日	4大AP事業見学（陣中見舞） 理事会
9月8日	平成28年度総会決算報告 理事の選出 委員会メンバーの選出について 年間スケジュールについて 大学「共創祭」 模擬店出店
11月12日	常任理事会
13日	平成29年度総会について
24日	理事会・忘年会 平成29年度総会について 大学管理職を招待
12月15日	短大 表現活動研究発表会
平成29年	
1月14日	平成29年度総会について
2月16日	大学・短大 卒業式・卒業パーティー 同窓会入会式
3月17日	新理事紹介 卒業証書ホルダー寄贈
24日	平成29年度総会について

共創祭に模擬店参加

同窓会では、11月12日の共創祭に模擬店「同窓会のドーナツ屋さん」を出店し、イベントを盛り上げる手伝いをしました。準備したドーナツやオリジナルクッキー缶は完売しました。



2016年の共創祭の様子

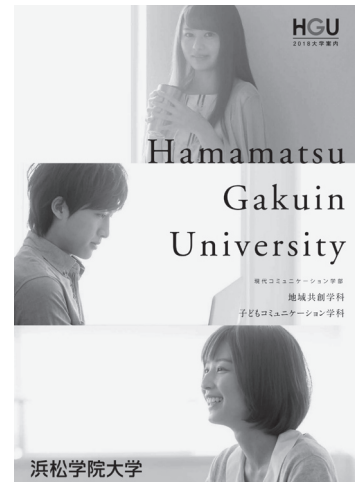
平成28年の総会・懇親会の様子



浜松学院大学

浜松市中区布橋3丁目2番3号 TEL 053-450-7000 FAX 053-450-7110

「地域の課題解決に
貢献する人材を育成」
現代コミュニケーション学部は、子どもコミュニケーション学科と地域共創学科の2学科によって構成されています。
子どもコミュニケーション学科は、幼児教育、保育、初等教育、特別支援教育などの専門職の資格取得を通して、時代や地域のニーズに応えられる教育者や保育者、リーダーシップを発揮できる人材を育成する学科です。
一方、地域共創学科は、「地域を知る」「地域から学ぶ」「地域の課題解決に貢献する」をコンセプトにし、現場に立脚した能動的な学びを通して、現代及び将来に向け社会が求める人材を育成する学科です。



● 子どもコミュニケーション学科

「保育と教育を学ぶ」

幼稚園教諭・保育士を目指す「幼児教育・保育専攻」と、小学校教諭・特別支援学校教諭を目指す「初等教育専攻」があります。

時代や地域のニーズに対応し、リーダーシップに優れた教育者・保育者となることができます。4年間の学びには、充実した専門性の高い講義に加え、直接子どもと関わる体験的なプログラムが豊富に用意されており、教育者・保育者に必要な実践力を確実に身につけることができます。

【取得可能な資格】

保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状、小学校英語指導者資格

● 地域共創学科

「地域について多角的に学ぶ」

地域共創学科には、「地域政策専攻」「観光ツーリズム専攻」「グローバルコミュニケーション専攻」があります。

浜松市の地域課題を学び、地域課題に取り組むための学術的及び実践的知識と技術を身につけ、社会の幅広い領域で活躍できる人材となるために学びます。学科カリキュラムは現代の社会状況を踏まえ、学生自らの興味と関心に応じて科目を選択し、将来のキャリアと自分の生き方を関連付けて学ぶことが出来るようになっています。

【取得可能な資格】

中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状

【教育課程内で取得支援する資格・検定】

公務員試験、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、観光コーディネーター、TOEIC、IELTS、マイクロソフト オフィススペシャリスト（MOS）、ITパスポート、地域マイスター※指定された地域課題科目を履修すると、浜松学院大学と浜松商工会議所等により認定

就職先一覧

子どもコミュニケーション学科

浜松市立小学校、東京都立小学校、静岡県立特別支援学校、浜松市立幼稚園、磐田市立幼稚園、湖西市立幼稚園、浜松市立保育所、磐田市立保育所、袋井市立保育所、アソカ学園、相生学園、浜松平和学園、浜松児童福祉園、愛恵保育園、葵ヶ丘保育園、明和会、あそび学園、ずだじこども園、浜松学院大学付属愛野こども園、聖隷福祉事業団、天竜厚生会 他

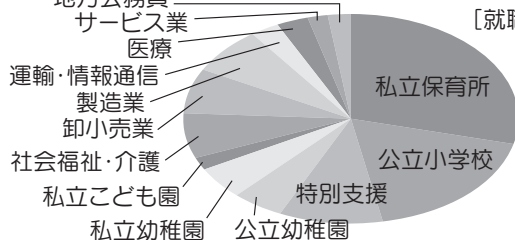
地域共創学科

浜松信用金庫、遠州信用金庫、みずほファイナンシャルグループ、遠鉄観光開発、呉竹荘、浜松日産自動車、一色機材、安心堂、静岡県立高等学校、浜松市立中学校、浜松学院中学・高校、静岡県警、愛知県警、浜松市消防局、遠州鉄道、とびあ浜松農業協同組合、遠州夢咲農業協同組合、ローランド、杉山メディアサポート、NOK、やまと興業、ヤタロー 他

就職データ

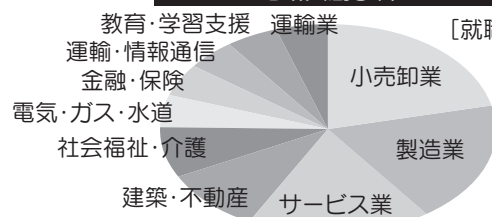
子どもコミュニケーション学科

[就職率100%]



地域共創学科

[就職率96%]



浜松学院大学短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号 TEL 053-473-6100 FAX 053-473-6196

● 幼児教育科

『子どもたちのために』

子どもとともに歩む

保育者を目指します』

2017年、幼児教育科は設立50周年をむかえました。開設して以来、優秀な幼児教育・保育の専門家を送り出し、長年にわたって培ってきた教育プログラムと、地域の保育活動に貢献する数多くの卒業生の存在など、確かな礎の上に立つ保育者養成校としての高い評価をいただいています。



また、キャンパスの近くには付属幼稚園、袋井市

愛野には付属愛野こども園があります。実習は

もとより日常的に子どもや保護者の方々と接する

ことで、学生のうちから生きたコミュニケーションを

学び、幅広い体験を積むことができます。

就職支援では、学生の希望と適性を見極めた

支援を行い、成功をサポートしています。1年生

4月の就職ガイダンスから始まり、作文やピアノ対

策など、就職試験に直結する実践的な指導を行う

「就職講座」を定期的に開催しています。その結

果、高い就職率を実現しています。

短期大学部では、2年間で幼稚園教諭二種免許

状、保育士資格を取得することができるので、早

く社会に出て活躍したい人には最適です。

【取得可能な資格】

幼稚園教諭二種免許状、保育士、ピアヘルパー、ネ

チャーゲーム・リーダー

スカラシップ給付制度

入試結果および在学中の学業成績による給付

制度があります。

スカラシップⅠ類…授業料半期分給付(2年間)

スカラシップⅡ類…入学後に入学金相当額を給付

特別給費生制度…2年進級時、成績優秀者に

10万円給付

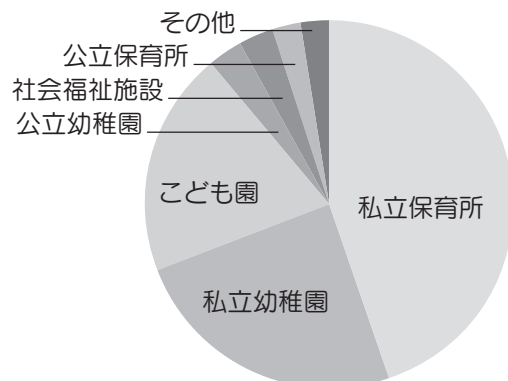
就職先一覧

幼児教育科

浜松市(幼稚園・保育所)、湖西市(幼稚園・保育所)、旭ヶ丘幼稚園、海の星の宮幼稚園、追分幼稚園、蒲幼稚園、上島幼稚園、鴨江幼稚園、河輪幼稚園、気賀幼稚園、北浜幼稚園、湖東幼稚園、五和幼稚園(島田)、さなる幼稚園、志都呂幼稚園、昭和幼稚園、城北幼稚園、日本文教幼稚園、花園幼稚園、浜松葵幼稚園、浜松学院大学附属幼稚園、浜松中央幼稚園、ひくま幼稚園、普済寺幼稚園、美波幼稚園、百花幼稚園、相生学園、いずみこども園、市野与進こども園、入野こども園、掛川こども園、さじの里、くるみ学園、子育てセンターさやのもり・とものもり・ひだまり、しらゆりこども園、ずだじこども園、ひくまこども園、ひばり幼稚園(静岡)、ふじキンダー学園、平和こども園、有玉保育園、いずみ第三保育園、大須賀苑、キッズホームてんとうむし、こうのとりの東保育園、湖東白ゆり保育園、しばもと保育園、城北ナーサリー、聖隷めぐみ保育園、そらいろ保育園、大東福祉会、ときわ保育園、とみがおか保育園、中泉保育園(磐田)、はあもに保育園、はらっぱ保育園、ひがし保育園(菊川)、広瀬保育園、微笑保育園(湖西)、袋井ハロー保育園、ヘリオスプレスクール、摩耶保育園、みどり保育園、都田保育園、明和会、ヤマハ発動機事業所内託児施設、やまびこ保育園、遊歩の丘保育園・遊歩の丘はまな保育園、ルンビニ保育園(袋井)、れんげ保育園、若宮保育園、和合保育園、支援センターわかぎ、おおぞら療育センター、浜名学園、和光寮、学習企画社

就職データ

[就職率100%]



幼児教育科開設50周年

— うけつぎ、未来へ —

幼稚園教員養成所を経て、昭和42年幼児教育科第一部および第二部を開設してから50年となります。昭和39年第一期幼稚園教育振興計画により、幼稚園の普及に拍車がかかった当時の幼稚園教育を取り巻く社会的状況と地域社会の要請にこたえるべくスタートしたのがハマタンの幼児教育科です。その後、平成4年に保母養成課程（当時）の認可を受け、現在では卒業生の95%以上が幼稚園、保育所、施設などで専門職に就き、優秀な保育者として活躍しています。

そのためには実習受け入れ先の幼稚園、保育所の理解と協力は必須事項です。幼児教育科には半世紀の歴史がありますので、実習先に本学卒業の先輩保育者がいる場合も多く、保育者としてはまだ未熟な実習生に対し、その道の先輩として温かくご指導いただいております。

その確かな進路を支えているのは、幼児教育科がいつの時代にも変化する社会の期待と、重要性を増す幼児教育について、実学を旨とする教育理念に沿って、常に実践力を重視した特徴ある教育を行っていることです。ただ単に資格・免許状を持った人材を育成するのではなく、保育に関する深い知識や技術面はもちろんのこと、子どもを温かい目で見つめる愛情豊かな保育者の育成を目指し、幼児教育科は、50年の発展と堅実な歩みを続けてきました。

また、教育実習以外にも「子どもフェスティバル」といった行事をはじめ、ボランティア活動やイベントなどで、子どもたちと遊びながら触れ合う機会が設けられており、そうした体験が卒業後も保育の現場で大きく役立っています。子どもフェスティバルは今年で47回目の開催を迎えます。幼児教育科が開設されたごく初期から続く本科最大のイベントでもあり、毎年地域の方も多く来場されます。近年では、卒業生がお子様、時にはお孫さんを連れて来場されることもあり、改めて50年という歴史を感じます。

この50周年の節目を、先の未来へよき伝統と誇りを確実に伝えていくため、幼児教育を目指す若者の志を受け、それに応える学び場であり続けるよう誠心誠意、教育に向き合っています。

ん、音楽や造形、表現を実践し、教育実習や保育実習で総合的に体験、実証することによって一人ひとりの力になっていきます。

そのためには実習受け入れ先の幼稚園、保育所の理解と協力は必須事項です。幼児教育科には半世紀の歴史がありますので、実習先に本学卒業の先輩保育者がいる場合も多く、保育者としてはまだ未熟な実習生に対し、その道の先輩として温かくご指導いただいております。



幼児教育科教授
浅井 潔

幼児教育科開設50周年おめでとうございます。私は開設3年目の昭和45年に着任し、実習担当で、各幼稚園の先生方から幼児教育の基本を学生共々学ばせてもらい現在も仕事をさせていただけている幸に感謝・感謝です。

当時の第一部は定員割れの状況がしばらく続き、第二部は盛況（紡績会社勤務の学生のみでクラス編成され、朝2コマ学習と夕方から3コマ学習するグループが存在）で、それに加えて商科に支えられていた時代があつて、今日があることは忘れてはならないと思います。



第4期卒業
川島多賀子

創立50周年おめでとうございます。多くの卒業生の皆様が幼児教育の進歩を願い活躍されていることを聞きおよぶにつれ、私も卒業生の一人として大変うれしく思います。

幼児教育科の第4期生として在学していた当時、毎日の勉学の厳しさと共に同級生たちとの楽しい語らいや鼓隊部での活動を思い出します。

女優の吉村真理さんの司会するT

創立50周年に寄せて

当初は幼児のみで意欲的な学生は県の保母試験にチャレンジする。その為の対策講座やその後の保母養成課程の認可の取組などが懐かしく思い返されます。

また親子二代でハマタンで保育者を目指す方々に何組も出会えるのも嬉しいことの一つです。

学生が行く実習園のあちこちで、園長先生、主任さん等々から「私もハマタンよ」と言っていたいただき「浅井さん、まだいるの」と聞いていただけるのは学生も嬉しいようだが、私には至福の喜びです。多くの先輩方が保育現場で活躍されていることは本学の財産であるとともに誇りでもあります。

すでに一部定年退職された話を耳にするようになり年月が経過していることに歴史の重を感じます。

V出演、三重県合歓の郷での米国の学生との合同合宿、静岡の清水港まつり、地元の浜松祭への出演等々。今でも懐かしく思い出されます。

この節目の50周年を契機に母校がますます発展するよう関係する皆様のお力添えを心からお願い申し上げます。



当時の鼓隊部パレードの様子

「長期学外学修プログラム」視察報告

浜松学院大学では、「大学教育再生加速プログラム（ＡＰ）」平成27年度「テーマ4 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）」に採択され、平成28年度フィールドスタディが実施されました。

本プログラムのうち、基礎プログラムにおいては、ダバオ市フィールドスタディ（フィリピン共和国・ダバオ市）と北遠フィールドスタディ（天竜区春野町・勝坂）の2つのフィールドがあります。



学生たちはフィールドで、8月の1ヵ月間を地元や自宅を離れ、生活を自己管理しながら、社会の状況に向き合い、関心と問題意識を持ち解決していきます。そして、このフィールドスタディを通して、一人ひとりの学生が、大学で学ぶ目的を明確化していく事につなげることが、このプログラムの特徴となっております。



浜松学院大学同窓会では、昨年は北遠フィールドスタディにおいて、8/16、23の合計3回の視察を行いました。



北遠フィールドスタディが実施されている春野町勝坂地区は、大学から車で2時間程の場所にある、自然と共生する生活文化・慣習が根強く残る地域です。また毎年10月には400余年の歴史がある「勝坂神楽」が、今現在も地域に暮らす人の中で脈々と受け継がれています。しかし現在15世帯が暮らす勝坂地区は、過疎化に悩む中山間地域でもあります。そのなかで、学生が地域とどのように向き合っているのか、視察を行いました。

8月の間、学生たちは、午前中は耕作放棄地の開墾に汗を流し、午後からは、遊休施設となつている「勝坂茶屋」の復興に向けての整備や、また勝坂の特色を生かした料理開発などを行い、イベント企画に向けての準備を進めていました。

また週2回、夜の7時から9時まで、勝坂神楽保存会のみなさまより、勝坂神楽の舞をご指導していただいていたとの事でした。

8/16の視察当日は、お盆の最終日であり、勝坂では、灯笼流しが行われ

ました。朝8時から勝坂自治会のみなさまと学生で、灯笼を制作しました。勝坂の灯笼は、大人が三人は乗れるほど大きなもので、藁で作られています。

そして、日が落ちる午後6時から、勝坂地区内を流れる気田川で灯笼が、流されました。燃え上がる巨大な灯笼は、死者を送り出すという意味が込められており、太鼓の音と共に大きな灯笼が燃え上がりながら、気田川をゆっくりと下つていきました。

灯笼流しが終わると、勝坂自治会のみなさまと、学生そして私達とで、バーベキューを行いました。同窓会からは学生のこれまでの取り組みをたたえ、また今後の活動を応援するため、差し入れをしました。



学生たちはお腹いっぱいになるまで、バーベキューを楽しみ、私達は学生の明るい声に送られ、勝坂を後にしました。

8/28の視察では、勝坂での成果報告会を学生が自ら主催し、招待を受け出席をいたしました。これまでの活動報告とともに、開発してきたそば粉を使った料理もふるまわれ、1ヵ月間の学生の成長を感じました。

そして10/23の視察では、いよいよ



8月の1ヵ月間練習を続けてきた勝坂神楽の本番を迎えました。大学からはこれまで勝坂

フィールドスタディに携わってこられた関係者のみなさまとともに、期待を胸にバスにて勝坂に向かいま



男子学生5名は女性の着物を身にまとい、美しく化粧をほどこされ、最初こそ照れ笑いをしていました。舞の奉納になると、これまでの成果を堂々と披露しました。

そして、女子学生3名については、女人禁制である勝坂神楽始まつて以来初めて、お囃子として参加が認められました。これは、8月の1ヵ月間男子学生の舞の練習に全員で取り組んだことにより、保存会のみなさまが認めてくださった



勝坂神楽のあとは、耕作放棄地を耕し育てた蕎麦の実を私たちも参加して収穫を行いました。

昨年3回の視察をとおり、長期学外学修プログラムでは、大学4年間の学びのなかで理論だけを学ぶのではなく、活動する事を通して、より理解を深めることができました。



今後もこのプログラムが学生の学びの動機づけとなり、大学生活の充実につながることがを願います。

浜松学院大学 男子バスケットボール部創部



平成29年3月に行われた協定締結式の様子。 左：石田学長 右：三遠ネオフェニックス：浜武社長

平成30年4月、浜松学院大学に男子バスケットボール部が創部されることが決定し、本学にて記者会見を行いました。記者発表では、豊橋市を拠点に活動するプロバスケットボールクラブ「三遠ネオフェニックス」が本学の男子バスケットボール部を全面監修することが発表されました。石田学長は、「スポーツを通じて、人間力の高い人材を育成したい」と述べました。プロバスケットボールクラブが大学のバスケットボール部を監修するのは、全国でも珍しい試みです。

三遠ネオフェニックス

愛知県豊橋市を本拠地としてB.LEAGUEに所属するプロバスケットボールクラブ。bjリーグ時代には優勝3回。B.LEAGUEの初年度において、中地区2位でチャンピオンシップに出場した強豪クラブ。



プロバスケットボールクラブの全面バックアップが学生の成長をサポート！



@San-En Neophoenix



@San-En Neophoenix

監督・コーチや部活動運営までを三遠ネオフェニックスが全面監修。本学の男子バスケットボール部が、今話題のプロバスケットボールクラブの育成計画のもと、大会での飛躍を目指します。



@San-En Neophoenix

運営会社のフェニックスにて3カ月の長期企業内留学を行い、プロクラブの経営・運営を学びます。



フェニックスが運営するキッズスクール「ファイブスター」で、サポートスタッフとして、子どもたちにバスケットボール指導を行います。

男子バスケットボール部に所属している生徒をご存知でしたら、ぜひご紹介ください。

お問い合わせ先：浜松学院大学 総務・入試グループ 053-450-7117(入試広報センター直通)

地域共創学科 特別講義

一般の方々へ公開しています。

学生とともに様々な地域の問題に耳を傾けてみませんか。

大学とは、勉学に加え出会いや見聞を広げる貴重な場です。それは学生に限ったことではなく、大学に関わる全ての方、広く地域にいらっしゃる一般の方々にとっても同様であると考えます。

そこで、地域との連携に積極的に取り組む本学の授業は、この度一部を地域の方々に公開いたします。

公開される講座は、浜松地域の各界のリーダー・有識者の方々が、自分の理念、経営哲学、浜松地域の特性、将来への課題、そして未来を担う若者に伝えたいことを熱く語る『特別講義』です。

同窓生の皆様はもちろん、どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご受講ください。

日 程	講 師 名	
10月 5日	山 田 博 貴	アイランド新宿法律事務所
10月12日	御室健一郎	浜松信用金庫理事長
10月19日	稲 葉 大 輔	浜松市議会議員
10月26日	花 井 和 徳	浜松市教育委員会教育長
11月 2日	大須賀正孝	浜松市商工会議所会頭
11月 9日	平松利枝子	フォトジャーナリスト
11月16日	林 道 雄	WEB MAGAZINE NOSVIS 代表取締役
11月30日	未 定	浜松市若手職員
12月 7日	未 定	(株)ぬくもり工房
12月14日	未 定	浜松市企画調整部参事国際課
12月21日	嶋 和 彦	浜松市楽器博物館長

場所: 浜松学院大学 3号館 3304講義室

時間: 16:20～17:50 (5限)

各回、開始10分前までに大学事務室にて受付をお願いします。

各回とも、事前申込は不要です。

どの回に参加しても、何回参加しても構いません。

※駐車場の台数は限りがございます。公共交通機関をご利用下さい。

昨年度の様子



第8回 浜松市 鈴木康友市長



第16回 浜松商工会議所会頭 大須賀正孝様



第25回 龍潭寺 武藤宗甫様

昨年度は、22名の講師をお招きし、講義をして頂きました。浜松地域のリーダーによる熱い声は学生たちの心に響いている様子でした。また、多数のメディアにも取り上げられ、静岡新聞・中日新聞・NHKなどにて本講義の様子が紹介されました。

大学・短期大学部のイベント案内

浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 大学祭

共創祭

平成29年11月25日(土)・26日(日) 於：浜松学院大学

浜松学院大学の大学祭は「共創祭」といいます。

「共創」とは人と人とのつながりや出会いから生まれる新しい創造力。共創祭は本学の学生だけのイベントではなく、他大学、高校、地域の方と共に創り、参加し、楽しむ大学祭なのです。同窓会も毎年模擬店を出店し、共創祭を盛り上げています。

主な催し物

- ・展示 DiCoRes ミュージアム
(子どもコミュニケーション学科企画・子ども向イベント)
地域交通サークル(鉄道研究)、創造サークル
陶芸作品展示・即売
- ・演舞 よさこいサークル遠州舞遊連、演劇サークル、エイサー 等
- ・模擬店 同窓会も出店予定
- ・受験希望者を対象とした「入試個別相談会」(共創祭開催時間中、随時応じます)

同窓生の方のご来場をお待ちしております。

※詳細は追ってHPにて紹介されます。



浜松学院大学短期大学部

子どもフェスティバル

平成29年10月29日(日) 10:00～

於：浜松学院大学短期大学部

学んだ成果を地域の子どもたちに発信する学生主体の交流イベントです。毎年秋、地域の子どもたちをキャンパスに招待して開催します。

今年で47回目になるハマタンの伝統あるイベントは、日頃の学びの成果を確かめる場でもあります。

今年のテーマは「冒険～きみも探検隊のなかまだ!～」です。1人ひとりの子どもが冒険の主人公になって、ワクワクしてもらえるよう企画から準備、運営まで学生が主体となって取り組みます。手作り感あふれるハートフルな演出はみなさまに大好評です!



表現活動研究発表会

平成30年1月13日(土) 13:00～(開場) 13:30～(開演)
於：Uホール(浜松市勤労会館)

本年度、「表現活動研究発表会」は31回目を迎えます。

これは、幼児教育科の表現系ゼミナールが卒業研究の一端を発表するものとして、毎年開催されているものです。

創作劇やハンドベル演奏で練習の成果を十分に発揮し、心をこめて表現したいと思います。



同窓会活動の紹介

本同窓会は、会員の親睦や連携を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的として活動しております。

年1回の総会・懇親会の開催、会報「同窓会だより」の発行、5年に1度の会員名簿の発行、ホームページの開設などにより、会員相互の親睦を図ることはもとより、学園祭への模擬店参加や助成、卒業生に対する証書ファイルの寄贈、卒業パーティへの補助、卒業した年に開催する総会・懇親会への無料招待など、在学生に対する支援活動も行っております。

また、入学式や卒業式など、大学の主な行事へは、会長をはじめとする役員が出席し祝詞を述べる機会をいただいておりますが、卒業式の終了後には、同窓会への入会式を行い、会長から卒業生に対して、同窓会への入会を歓迎し、また今後の活動への協力をお願いしております。このような同窓会の様々な活動が、より充実して進められるよう、次の3つの委員会を設置しています。

企画委員会

企画委員会は、総会・懇親会、その他の事業の企画、立案や運営を担当する委員会です。

委員長、副委員長、委員で組織され、毎年同窓会総会の企画立案を担当しています。懇親会での抽選会（全員に景品が当たるビンゴゲーム）やコンサート、アトラクションなど、会員相互の親睦を図るとともに、総会に来てよかったと思っただけの内容を企画しております。

今後、同窓会の活動をより多くの卒業生に理解していただき、同窓会総会に多くの卒業生が出席し、多くの人達が交流を持ち、みんなで母校を盛り上げていく、そんな企画立案をし、大学の発展につながる委員会を目指していきます。

会員組織委員会

会員組織委員会は、同窓会会員に関する問題や、同窓会組織や会則に関する問題について検討し、提案、改善を行うことを目的とした委員会です。

役割としては、組織、会則の見直しや、

広報委員会

会員名簿の発行に関することで、この委員会制度の導入についても提案し、同窓会会則に盛り込みました。また、我が母校の発展に寄与するために、卒業生同士が親睦を深め、卒業生と学生、教職員の交流を図る場である同窓会総会に多数参加していただくよう、理事不在の卒業年から、理事の選出をお願いしております。そのほか、5年に1度の会員名簿の発行業務を担当しております。

広報委員会は、同窓会の活動を広く会員の皆様にお知らせすることを目的とした委員会です。具体的な役割としては、年一回発行される会報「同窓会だより」の編集とホームページの運営です。「同窓会だより」発行の時期が近づいて来ると広報委員会の委員が集まり、掲載記事の選定や原稿の準備、紙面レイアウトの検討などを行います。原稿の依頼や確認など大変な仕事ですが、卒業生や大学の様々な情報に触れることができ、楽しみでもあります。

皆様の中で、こんな情報が知りたい、またこれを記事にしてほしい、という要

望等がございましたら、直接事務局へ、またはホームページを通じてお聞かせください。お待ちしております。

同窓会として会員の皆様のために、また母校の発展のために何ができるのか、会員の皆様とともに考え、活動が続けていくためには、多くの卒業生が会の運営に参画することが必要です。皆様の同窓会活動へのご支援を引き続きお願いいたします。

同窓会のホームページ

本同窓会の公式サイトを通じて同窓会の活動や、総会の案内などを積極的にお伝えしていこうと思っています。



浜松学院大学同窓会ホームページ

URL <http://www.hamagaku.ac.jp/dousoukai/>

浜松学院大学同窓会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、浜松学院大学同窓会という。

(目的)

第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 同窓会報の発行
- (3) その他、この会の目的を達成するために必要な事業

(本部及び支部)

第4条 この会は、本部を浜松学院大学内に置き、支部を必要な地域に設ける。

第2章 会員及び客員

(会員)

第5条 この会は、次の資格を有するものを会員とする。

- (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業または課程終了したもの。
- (2) 前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。

(客員)

第6条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。

- (1) 前条に示す大学等の教職員。
- (2) かつ前条に示す大学等の教職員であつたもので、理事会の承認を得たもの。

第3章 役員

(役員の定数)

第7条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事 各科各部の卒業回数の合計数に相当する人員以内とし、各回の同窓生を代表する。
- (4) 常任理事 理事合計数の3分の1以内
- (5) 監事 2名以上4名以内

(役員の選任)

第8条 役員の選任は、次により行う。

- (1) 会長、副会長、及び監事は、理事会の議を経て、選任する。
- (2) 常任理事は、理事会において選出する。

(役員の任期)

第9条 (1) 役員の任期は、3年とし、総会を以て終了する。

- 但し、再選を妨げない。なお、補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (2) 会長に関しては3選を認めない。

(役員の職務)

第10条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この会を代表

し、会務を総理する。

- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

- (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。
- (4) 常任理事は、特に、常任理事会を組織し、理事会の決議事項を執行する。

- (5) 監事は少なくとも年1回、この会並びに各支部の財産及び会務執行の状況を監査し、その結果につき理事会に報告し、意見を述べなければならぬ。

(顧問、及び特別顧問)

第11条 会長は、この会の重要事項を諮問するため、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第9条を準用する。

(事務局)

第12条 会長は、この会の事務を処理するため、事務局を置く。

第4章 会議

(総会)

第13条 総会は、会員で構成し、理事会の決議事項を報告する。ただし、理事会が認めるときは、開催をとりやめることができる。

(理事会)

第14条 理事会は、会長、副会長、常任理事及び理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。

(委員会)

第15条 常任理事会は、会長、副会長及び常任理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。

(常任理事会)

第16条 同窓会の事業を執行するため、「企画委員会」、「会員組織委員会」、「広報委員会」を置き、副会長及び常任理事、理事をもって組織する。また、必要に応じて新たな委員会を置くことができる。

(支部の結成)

第20条 会員は、理事会の議を経て地域別に支部を結成することができる。但し、支部は、一定の事務所を設け、組織を定めて役員を置かなければならない。

(本部への報告)

第21条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部規則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。

(規定にない細目)

第22条 この会則に規定のない細目は、理事会の議を経て会長が決定する。

催の広報、会報誌発行、ホームページへの記事掲載と更新

(議事)

第17条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。

第5章 会計

(経費)

第18条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。

- (1) 会費
- (2) 寄附金
- (3) その他の収入

(会計年度)

第19条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第6章 支部

(支部の結成)

第20条 会員は、理事会の議を経て地域別に支部を結成することができる。但し、支部は、一定の事務所を設け、組織を定めて役員を置かなければならない。

(本部への報告)

第21条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部規則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。

第7章 補則

(規定にない細目)

第22条 この会則に規定のない細目は、理事会の議を経て会長が決定する。

附 則
注 昭和43年3月10日 制定

浜松学院大学同窓会 掛川支部会則

第1章 総則

第1条 (名称) この会は、浜松学院大学同窓会掛川支部という。

第2章 (目的)

第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。

第3章 (事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、本部の事業に協調する。

第2章 会員及び客員

第4条 (会員)

この会は、次の資格を有する者で掛川市に在住する会員とする。

- (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもの。
- (2) 前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。

(客員)

第5条

この会は、次の資格を有する者を客員とする。
(1) 前条に示す大学等の教職員。
(2) かつ前条に示す大学等の教職員であったもので、理事会の承認を得たもの。

第3章 役員

(役員の定数)

第6条 この会に、つぎの役員を置く。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 若干名
- (3) 理事 若干名
- (4) 会計 1名

(役員の選任)

第7条 役員の選任は、次により行う。

(1) 支部長、副支部長及び会計は理事会の議を経て選任する。

(役員の任期)

第8条 (1) 役員の任期は、本部役員と同期間とし、再選を妨げない。

- (2) 支部長に關しては、3選を認めない。
- (3) 補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 支部長は、この会を代表し、会務を総理する。
- (2) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故がある時は、その職務を代理する。
- (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。

(顧問、及び特別顧問)

第10条 支部長は必要に応じて、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。

但し、任期は第8条を準用する。

第4章 会議

(総会)

第11条 総会は、本部総会に参加すること、これに替える。

(理事会)

第12条 理事会は、支部長、副支部長、会計及び理事をもって組織し、年2回以上開催する。

但し、支部長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。

(議事)

第13条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。

第5章 会計

(経費)

第14条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。

- (1) 本部補助金
- (2) 寄付金
- (3) その他の収入

(会計年度)

第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会計監査)

第16条 この会の会計監査は、本部監事の監査を年1回受けるものとする。

(本部への報告)

第17条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部会則を本部に報告するものとし、その異動があったときも同様とする。

第6章 補則

(規定にない細目)

第18条 この会則に規定のない細目は、本部及び理事会の議を経て支部長が決定する。

附 則

平成18年4月8日 制定(通常理事会)
平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)

浜松学院大学同窓会 ゴルフ会則

第1条 本会は浜松学院大学同窓会ゴルフ会(略称浜学同窓会ゴルフ会)と称する。

第2条 本会はゴルフを通じて会員の健康増強と相互の親睦を図ることを目的とする。

第3条 本会は浜松学院大学同窓会員及び興誠学園関係者のゴルフ愛好者をもって組織する。

第4条 本会には会長をおく。

第5条 会長は会員より選出する。本会の会長の任期は2ヶ年とし、再選を妨げない。

第6条 本会は幹事をおく。幹事は優勝者及びブービー賞者の2名とし、会員各位への連絡事務・会計・次回開催の準備をする。

第7条 プレー費用は各人の負担とする。

第8条 会の運営は会員及び同窓会の補助金をもって。但し会費は参加者よりその都度徴収する。

第9条 ゴルフ競技会は年2回(春・秋)に開催する。

第10条 競技方法はダブルペリア方式とする。但し協議のうえ他の競技方法とすることができる。

第11条 賞は1位より3位迄及び参加賞とする。

第12条 但し参加人員が3組以上になった場合には賞の範囲を広げることができる。

第13条 同点者ある時は年令・ハンディキャップ順とする。

競技は6名以上の参加をもって成立とする。但し、ゴルフコースの都合により定員をもうけ、定員になり次第締切ることができる。

附 則 1

この会則は平成4年1月26日から施行する。
平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)

平成28年度 収支決算書

(自 平成28.4.1 至 平成29.3.31)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	6,657,643	6,657,643	会議費	400,000	319,313
会員会費	3,144,000	3,252,000	懇親会費	260,000	252,400
預金利息	0	587	奨学費	600,000	0
総会剰余金	0	63,213	卒業パーティ助成金	200,000	200,000
			証書ファイル	250,000	243,108
			慶弔費	220,000	215,000
			通信費	150,000	83,840
			消耗品費	470,000	461,025
			学園祭関係費	150,000	140,944
			印刷費	20,000	15,120
			掛川支部運営費	50,000	21,080
			事務局費	100,000	80,000
			ホームページ関係費	110,000	108,864
			総会費用	200,000	0
			予備費	6,621,643	1,054,039
			次年度繰越金	0	6,778,710
合 計	9,801,643	9,973,443	合 計	9,801,643	9,973,443

※科目間流用	科 目	当 初 予 算	増 減
	会議費	450,000	△ 50,000
	懇親会費	250,000	10,000
	慶弔費	200,000	20,000
	消耗品費	450,000	20,000

※予備費使用 大学および短大にそれぞれ500,000円寄付 AP事業現地訪問陣中見舞い54,039円
監査の結果、いずれも適正且つ妥当であることを認めます。

平成29年4月13日

浜松学院大学同窓会

会計監査

早 田 利 之
氏 原 章 博

㊞
㊞

平成29年度 収支予算書

(自 平成29.4.1 至 平成30.3.31)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	前年度決算額	予 算 額	科 目	前年度決算額	予 算 額
前年度繰越金	6,657,643	6,778,710	会議費	319,313	350,000
会員会費	3,252,000	2,856,000	懇親会費	252,400	250,000
預金利息	587	0	卒業パーティ助成金	200,000	0
祝儀	0	0	学園祭関係費	140,944	0
奨学金回収	0	0	学生活動支援費	0	400,000
名簿販売	0	0	寄付金	0	1,000,000
名簿作成剰余金	0	0	証書ファイル	243,108	250,000
総会剰余金	63,213	0	消耗品費	461,025	50,000
			通信費	83,840	100,000
			印刷費	15,120	20,000
			慶弔費	215,000	200,000
			ホームページ関係費	108,864	0
			Web・会員ソフト維持費	0	170,000
			掛川支部運営費	21,080	50,000
			事務局費	80,000	50,000
			総会費用	0	200,000
			予備費	1,054,039	6,544,710
			次年度繰越金	6,778,710	0
合 計	9,973,443	9,634,710	合 計	9,973,443	9,634,710

※科目間の流用を認めるものとする

財産目録

(平成29年3月31日現在)

普通預金	浜松信用金庫	8,705,715
	静岡銀行	878,084
	遠州信用金庫	38,911
	平成29年度入学生会費 (237名分)	△ 2,844,000
	差引残高 (A)	6,778,710
定期預金	浜松信用金庫	(B) 500,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,005,182
奨学金貸付金 (2名分)	(C)	224,000
合 計	(A+B+C)	10,507,892

上記の通り、収支および財産目録の報告をいたします。

平成29年4月20日

浜松学院大学同窓会

会 長
副会長
同
同

伊 藤 安 男
島 田 隆
川 島 多 賀 子
山 本 陽 子

㊞
㊞
㊞
㊞

〔同窓会役員名簿〕

〔会 長〕

伊 藤 安 男 (商Ⅰ21回)

〔副会長〕

川 島 多 賀 子 (幼Ⅰ3回)

岡 本 護 (商Ⅱ4回)

〔常任理事〕

曾 布 川 初 市 (商Ⅰ1回)

鈴 木 俣 稔 (商Ⅰ3回)

島 田 隆 (商Ⅰ22回)

一 瀬 誠 (商Ⅰ24回)

堀 内 陽 吉 (商Ⅰ26回)

三 沢 芳 弘 (商Ⅰ27回)

野 澤 貴 士 (商Ⅰ28回)

天 野 弘 美 (商Ⅰ34回)

永 田 敏 夫 (商Ⅱ10回)

加 茂 さ よ 子 (商Ⅱ28回)

中 村 さ ち 子 (幼Ⅰ2回)

伊 藤 道 子 (幼Ⅰ5回)

山 本 陽 子 (幼Ⅰ8回)

菊 地 美 香 (幼Ⅰ25回)

渡 辺 亜 希 (幼Ⅰ26回)

青 山 ひ ろ 子 (幼Ⅱ5回)

大 高 恵 美 子 (幼Ⅱ26回)

横 原 佑 太 (子Ⅲ3回)

〔理事〕

加 藤 正 夫 (商Ⅰ4回)

日 山 泰 秀 (商Ⅰ5回)

大 石 睦 子 (商Ⅰ6回)

氏 原 道 雄 (商Ⅰ13回)

石 津 佐 一 郎 (商Ⅰ14回)

藤 田 成 孝 (商Ⅰ16回)

横 井 茂 茂 (商Ⅰ18回)

水 野 等 (商Ⅰ20回)

杉 山 道 郎 (商Ⅰ22回)

高 橋 良 正 (商Ⅰ29回)

山 本 絹 枝 (商Ⅰ29回)

和 久 田 政 子 (商Ⅰ31回)

鈴 木 一 吉 (商Ⅰ35回)

藤 井 利 和 (商Ⅰ38回)

小 松 征 夫 (商Ⅱ2回)

鈴 木 勝 勝 (商Ⅱ4回)

坪 井 勝 俊 (商Ⅱ4回)

兼 子 春 治 (商Ⅱ5回)

野 末 和 男 (商Ⅱ6回)

平 野 由 久 (商Ⅱ6回)

加 藤 憲 於 (商Ⅱ13回)

永 田 雅 大 (商Ⅱ30回)

渡 辺 雅 修 (商Ⅱ31回)

川 嶋 幸 子 (幼Ⅰ6回)

河 合 美 由 紀 (幼Ⅰ11回)

宮 下 明 菜 (幼Ⅰ40回)

河 野 愛 (幼Ⅰ41回)

平 野 千 晶 (幼Ⅰ43回)

谷 元 美 和 子 (幼Ⅰ45回)

酒 井 侑 季 奈 (幼Ⅰ46回)

中 野 雅 章 (幼Ⅰ47回)

鈴 木 結 衣 (幼Ⅰ48回)

植 田 真 欧 (幼Ⅰ49回)

太 田 佐 登 子 (幼Ⅱ15回)

小 澤 仁 (現Ⅲ1回)

元 井 和 久 (現Ⅲ2回)

近 藤 伊 代 (現Ⅲ3回)

森 山 千 裕 (現Ⅲ4回)

森 山 達 也 (現Ⅲ4回)

杉 浦 未 来 (現Ⅲ5回)

山 田 薫 (現Ⅲ5回)

和 久 田 友 之 (地Ⅲ1回)

森 龍 馬 (地Ⅲ2回)

鈴 木 は る か (地Ⅲ3回)

井 上 晃 成 (地Ⅲ4回)

鈴 木 康 太 (地Ⅲ5回)

建 部 光 由 (子Ⅲ1回)

馬 淵 文 香 (子Ⅲ1回)

押 木 留 奈 (子Ⅲ2回)

熊 切 祐 子 (子Ⅲ2回)

佐 山 竜 一 (子Ⅲ4回)

新 村 彩 華 (子Ⅲ5回)

小 倉 実 樹 (子Ⅲ6回)

上 村 友 子 (子Ⅲ7回)

〔監 事〕

早 田 利 之 (商Ⅰ12回)

氏 原 章 博 (商Ⅰ13回)

〔顧 問〕

花 井 達 藏 (商Ⅰ7回)

大 村 弘 司 (商Ⅱ1回)

高 林 勇 式 (商Ⅱ1回)

吉 川 彰 (商Ⅱ4回)

〔特別顧問〕

岡 本 護 (商Ⅱ4回)

〔掛川支部長〕

鈴 木 洋 司 (商Ⅰ18回)

〔掛川副支部長〕

久 保 田 ま さ え (幼Ⅰ5回)

萩 田 千 鶴 子 (幼Ⅰ5回)

〔掛川支部会計〕

増 田 芳 弘 (商Ⅰ27回)

浜松学院大学短期大学部（浜松短期大学）における年次別学科別卒業生数

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
昭和28	① 84		84	84							84		84	84
29	② 61		61	145							61		61	145
30	③ 76		76	221							76		76	221
31	④ 74		74	295							74		74	295
32	⑤ 70		70	365							70		70	365
33	⑥ 38		38	403							38		38	403
34	⑦ 25		25	428							25		25	428
35	⑧ 18		18	446							18		18	446
36	⑨ 36		36	482							36		36	482
37	⑩ 29		29	511							29		29	511
38	⑪ 34	① 102	136	647							34	102	136	647
39	⑫ 57	② 92	149	796							57	92	149	796
40	⑬ 78	③ 126	204	1,000							78	126	204	1,000
41	⑭ 64	④ 118	182	1,182							64	118	182	1,182
42	⑮ 67	⑤ 133	200	1,382		① 55	55	55			67	188	255	1,437
43	⑯ 79	⑥ 122	201	1,583	① 16	② 63	79	134			95	185	280	1,717
44	⑰ 75	⑦ 106	181	1,764	① 50	① 77	127	261			125	183	308	2,025
45	⑱ 63	⑧ 112	175	1,939	② 53	② 129	182	443			116	241	357	2,382
46	⑲ 47	⑨ 90	137	2,076	③ 49	③ 124	173	616			96	214	310	2,692
47	⑳ 58	⑩ 96	154	2,230	④ 45	④ 130	175	791			103	226	329	3,021
48	㉑ 72	⑪ 109	181	2,411	⑤ 51	⑤ 129	180	971			123	238	361	3,382
49	㉒ 80	⑫ 90	170	2,581	⑥ 90	⑥ 167	257	1,228			170	257	427	3,809
50	㉓ 101	⑬ 98	199	2,780	⑦ 110	⑦ 188	298	1,526			211	286	497	4,306
51	㉔ 113	⑭ 103	216	2,996	⑧ 111	⑧ 187	298	1,824			224	290	514	4,820
52	㉕ 162	⑮ 136	298	3,294	⑨ 153	⑨ 221	374	2,198			315	357	672	5,492
53	㉖ 163	⑯ 91	254	3,548	⑩ 201	⑩ 154	355	2,553			364	245	609	6,101
54	㉗ 163	⑰ 97	260	3,808	⑪ 226	⑪ 172	398	2,951			389	269	658	6,759
55	㉘ 146	⑱ 79	225	4,033	⑫ 170	⑫ 117	287	3,238			316	196	512	7,271
56	㉙ 148	⑲ 45	193	4,226	⑬ 217	⑬ 73	290	3,528			365	118	483	7,754
57	㉚ 149	㉑ 44	193	4,419	⑭ 206	⑭ 50	256	3,784			355	94	449	8,203
58	㉛ 123	㉒ 42	165	4,584	⑮ 186	⑮ 32	218	4,002			309	74	383	8,586
59	㉜ 142	㉓ 45	187	4,771	⑯ 197	⑯ 29	226	4,228			339	74	413	8,999
60	㉝ 127	㉔ 30	157	4,928	⑰ 167	⑰ 33	200	4,428			294	63	357	9,356
61	㉞ 127	㉕ 23	150	5,078	⑱ 128	⑱ 23	151	4,579			255	46	301	9,657
62	㉟ 82	㉖ 17	99	5,177	⑲ 85	⑲ 22	107	4,686			167	39	206	9,863
63	㊱ 121	㉗ 22	143	5,320	㉑ 134	㉑ 34	168	4,854	① 90	90	345	56	401	10,264
平成1	㊲ 160	㉘ 31	191	5,511	㉒ 131	㉒ 47	178	5,032	② 94	184	385	78	463	10,727
2	㊳ 166	㉙ 37	203	5,714	㉓ 135	㉓ 23	158	5,190	③ 99	283	400	60	460	11,187
3	㊴ 158	㉚ 39	197	5,911	㉔ 134	㉔ 27	161	5,351	④ 140	423	432	66	498	11,685
4	㊵ 160	㉛ 48	208	6,119	㉕ 143	㉕ 31	174	5,525	⑤ 143	566	446	79	525	12,210
5	㊶ 164	㉜ 46	210	6,329	㉖ 143	㉖ 32	175	5,700	⑥ 129	695	436	78	514	12,724

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
卒業年	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
平成6	④ 160	③ 67	227	6,556	② 148	② 51	199	5,899	⑦ 130	825	438	118	556	13,280
7	④ 159	③ 56	215	6,771	② 148	② 47	195	6,094	⑧ 120	945	427	103	530	13,810
8	④ 153	③ 59	212	6,983	② 152	② 50	202	6,296	⑨ 116	1,061	421	109	530	14,340
9	④ 152	③ 33	185	7,168	② 141	② 50	191	6,487	⑩ 99	1,160	392	83	475	14,815
10	④ 133	③ 34	167	7,335	③ 141	③ 46	187	6,674	⑪ 94	1,254	368	80	448	15,263
11	④ 120	③ 11	131	7,466	③ 137	③ 43	180	6,854	⑫ 95	1,349	352	54	406	15,669
12	④ 131	③ 20	151	7,617	③ 140	③ 34	174	7,028	⑬ 87	1,436	358	54	412	16,081
13	④ 119	③ 11	130	7,747	③ 139	③ 39	178	7,206	⑭ 67	1,503	325	50	375	16,456
14	⑤ 119	④ 13	132	7,879	③ 145	③ 32	177	7,383	⑮ 65	1,568	329	45	374	16,830
15	⑤ 99	④ 6	105	7,984	③ 132	③ 43	175	7,558	⑯ 46	1,614	277	49	326	17,156
16	⑤ 94	—	94	8,078	③ 129	③ 49	178	7,736	⑰ 61	1,675	284	49	333	17,489
17	⑤ 69	—	69	8,147	③ 127	③ 41	168	7,904	⑱ 45	1,720	241	41	282	17,771
18	—	—	—	8,147	③ 143	③ 47	190	8,094	—	1,720	143	47	190	17,961
19	—	—	—	8,147	③ 137	③ 27	164	8,258	—	1,720	137	27	164	18,125
20	—	—	—	8,147	④ 145	—	145	8,403	—	1,720	145	—	145	18,270
21	—	—	—	8,147	④ 146	—	146	8,549	—	1,720	146	—	146	18,416
22	—	—	—	8,147	④ 129	—	129	8,678	—	1,720	129	—	129	18,545
23	—	—	—	8,147	④ 127	—	127	8,805	—	1,720	127	—	127	18,672
24	—	—	—	8,147	④ 154	—	154	8,959	—	1,720	154	—	154	18,826
25	—	—	—	8,147	④ 146	—	146	9,105	—	1,720	146	—	146	18,972
26	—	—	—	8,147	④ 153	—	153	9,258	—	1,720	153	—	153	19,125
27	—	—	—	8,147	④ 142	—	142	9,400	—	1,720	142	—	142	19,267
28	—	—	—	8,147	④ 136	—	136	9,536	—	1,720	136	—	136	19,403
29	—	—	—	8,147	④ 132	—	132	9,668	—	1,720	132	—	132	19,535
合計	5,468	2,679	8,147		6,700	2,968	9,668		1,720		13,888	5,647	19,535	

※ 幼児教育科のうち、昭和41年度、42年度はその前身である興誠学園幼稚園教員養成所

浜松学院大学における年次別卒業生数

学科	現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科		現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科		地域共創学科		全体	
卒業年	卒業生数	累計	卒業生数	累計	卒業生数	累計	合計	累計
平成20	① 169	169					169	169
21	② 105	274					105	274
22	③ 102	376					102	376
23	④ 64	440	① 42	42			106	482
24	⑤ 39	479	② 44	86			83	565
25			③ 38	124	① 41	41	79	644
26			④ 44	168	② 38	79	82	726
27			⑤ 57	225	③ 44	123	101	827
28			⑥ 61	286	④ 37	160	98	925
28			⑦ 69	355	⑤ 25	185	94	1,019
合計	479		355		185		1,019	

平成28年度 教員一覧

浜松学院大学

管理職名	職名	氏名	専門分野
学長	教 授	石 田 勝 義	子ども家庭福祉、障がい児教育
現代コミュニケーション学部学部長	教 授	岩 見 良 憲	特別支援教育
子どもコミュニケーション学科学科長	教 授	坂 本 雄 士	教科教育（算数・数学教育）、教育方法学、教育心理学
地域共創学科学科長	教 授	津 村 公 博	英語教育学
図書館館長	教 授	戸 田 昭 直	ビジネス実務教育、ライフプランニング、簿記会計教育
付属愛野こども園園長	教 授	田 嶋 善 郎	精神保健、社会福祉
	教 授	大野木龍太郎	スポーツ社会学・スポーツ教育学・社会教育学（子どもの社会教育論）
	教 授	川 口 雅 也	アメリカ文学、英語圏大衆文化
	教 授	高 久 新 吾	ピアノ・鍵盤楽器奏法、器楽合奏、音楽教育学
	教 授	田 中 健 二	観光ツーリズム、国際交流
	教 授	徳 増 幸 雄	地域政策
	教 授	原 田 年 康	教育実践学
	教 授	的 場 啓 一	地方財政、地方自治、公共政策、少子化対策、男女共同参画
	教 授	横 山 孝 子	特別支援教育
	教 授	渡 部 い づ み	地域経済 産業論 特に浜松地域の地場産業研究
	准教授	荒 井 庸 子	発達心理学
	准教授	石 野 純 子	保育実践 発達支援保育
	准教授	竹 本 石 樹	教師教育、理科教育、カリキュラム開発
	准教授	土 倉 英 志	社会心理学、認知心理学、質の心理学
	准教授	光安アパレシダ光江	国際開発、国際貿易、ブラジル経済、ポルトガル語、
	講 師	浦 谷 淳 子	小学校英語
	講 師	小 山 内 秀 和	教育心理学、発達心理学
	講 師	笥 有 子	美術制作、美術・造形教育学、美術・造形実践研究
	講 師	勘 米 良 祐 太	国語教育史、文法教育、作文教育
	講 師	小 佐 々 典 靖	社会福祉学、障害者福祉学
	講 師	兒 島 佳 子	母子保健、子育て支援
	講 師	島 埜 内 恵	教育学、比較教育学、教育制度学
	講 師	中 澤 幸 子	特別支援教育

浜松学院大学短期大学部

管理職名	職名	氏名	専門分野
短期大学部部長	教 授	金 子 容 子	英文学・英国口承文芸・英米児童文学
幼児教育科科长	教 授	山 本 孝 一	教育工学
	教 授	浅 井 潔	発達心理学、教育心理学
	教 授	今 井 昌 彦	教育学、教育工学、教育情報学
	教 授	亀 尾 恵 子	音楽・児童文化
	教 授	芳 賀 亜 希 子	乳幼児心理学
	教 授	弘 谷 多 喜 夫	教育史
	教 授	若 杉 雅 夫	油彩画、石版画、幼児の造形教育
	准教授	坂 田 温 志	社会福祉学（障害者福祉、児童家庭福祉）
	准教授	志 村 浩 二	嗜癇行動学、神経心理学
	准教授	永 岡 和 香 子	音楽と動きの教育
	准教授	中 本 富 士 乃	音楽教育、音楽療法
	准教授	橋 爪 け い 子	保育
	准教授	松 澤 俊 行	健康、体育、野外教育
	講 師	平 井 裕 也	ピアノ演奏法、音楽教育

社員研修は私たちにお任せください。

地元浜松で優良な研修を提供する 株式会社 エスエスブ레인

〒430-0901 静岡県浜松市中区曳馬 6-25-36

TEL:053-474-3178 FAX:053-474-6855

E-mail:ss-brain@ss-brain.com http://www.123ssb.jp/

ココロに響くデザインを、これから。

20th since 1998
Anniversary
www.gysdesign.jp
GYSDESIGN



か り

代 表 河守 恭一 (高28回卒)

〒432-8045 静岡県浜松市中区西浅田1-10-8
TEL (053) 442-1200 FAX (053) 442-6768

経営者のよき相談相手でありたい

東海浜松会計グループ 会長 内山隆司

(〒430-0946 浜松市中区元城町113-15)

税理士法人

東海浜松会計事務所

所長 竹内 一 登

TEL 053-455-2181

社会保険労務士法人

浜松労務管理事務所

所長 山崎 恵子

TEL 053-455-1003

静岡県知事免許(13)第2180号

宇野不動産株式会社

〒432-8023 浜松市中区鴨江四丁目2番17号

TEL 053-454-0711(代表) FAX053-455-2345

URL http://www.uno-re.com/

E-mail info@uno-re.com

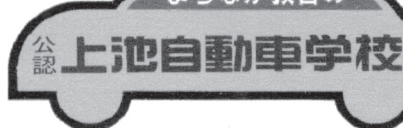
浜松学院大学 からすぐそこ！ 送迎2分！

無料個人送迎完備

まちなか教習の

浜松市中区城北1丁目19番8号

いこーよ みんな



TEL 0120-154-307

http://www.kamiike.co.jp

まちなか教習 検索

税理士・行政書士・宅地建物取引主任

近 藤 良 夫

〒432-8015 浜松市中区高町205-11

電 話 (053) 453-8707

F A X (053) 453-9350

学校用黒板、事務所用黒板、ホワイトボード
各種掲示板、看 板

有限会社 不二黒板製作所

〒430-0904 浜松市中区中沢町21番地9号

TEL<053>471-9010・FAX<053>472-2493

萬屋蒔蒔店

こんにやく・ところ天 製造・卸

浜松市中区天神町5-12 TEL 053-461-1588

463-1572

FAX 053-489-9303

(株)西遠蒔蒔

卸・浜松中央卸売市場

浜松市南区新貝町239-1 TEL/FAX 053-427-7506

井伊谷産キューブ米 無洗米 真空パック

直虎乃こころ 2合入(300g)

コトウファーム株式会社

浜松市西区和地町 6322 番地

TEL 053-486-2833

URL:http://www.fujinokensetsu.co.jp/kotoufarm/



各種新車・中古車販売

車検・点検・修理・板金・塗装
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社代理店
中部陸運局認証工場

浜松(464)8158
Sagami

(株)佐上商會

浜松市東区丸塚町94-1

TEL<053>464-8158(代)
FAX<053>464-2272

ま ず は お 話 を き か せ て く だ さ い 。

私たちは、広告のプロフェッショナル集団です

APRIS E

WEB + 印刷 + マスメディア

株式会社 アプライズ www.aprise.co.jp

本 社 〒430-0856 静岡県浜松市中区中島3-17-25 TEL.053(461)5581(代) FAX.053(461)5675

アプライズ

検索



明光電気株式会社

〒435-0041 浜松市東区北島町2-5番地

TEL: 053 (421) 4611

FAX: 053 (422) 1187

<http://www.meikoh-me.co.jp>

街がかわる、街をかえる。



WE BUILD THE FUTURE.

RINKOH

株式会社 林工組 <http://www.rinkoh.co.jp>

本 社 〒435-0036 静岡県浜松市南区渡瀬町1000-1 TEL 053-461-8853(代表)

FAX 053-461-8855

静 岡 支 店 〒422-8026 静岡県駿河区富士見台1-13-9 TEL 054-281-2085

磐田営業所 〒438-0074 磐田市二之宮38-2 TEL 0538-32-5365

掛川営業所 〒436-0017 静岡県掛川市杉谷2-2-20 TEL 0537-24-5855

豊橋営業所 〒441-8077 豊橋市神野新田町中島10 TEL 0532-45-9898

SoftBank

ソフトバンク浜松中央

〒430-0901

浜松市中区曳馬6丁目20-1

TEL: 053-478-5088

営業時間 AM10:00~PM8:00

定休日: なし

ソフトバンクサンストリート浜北

〒434-0041

浜松市浜北区平口2861

TEL: 053-584-2250

営業時間 AM10:00~PM8:00

定休日: なし



(蒲原代店) 仕事は楽しいのが一番!

テレニシ株式会社 東海支店
〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1丁目47番1号 名古屋国際センタービル15階
TEL:052-587-1117 FAX:052-587-1118 URL:<http://www.tele-nishi.co.jp/>

普通・二輪免許を取るなら



遠鉄自動車学校

浜松市東区小池町1552 053-462-1221



かに料理

浜松甲羅本店

〒432-8023

浜松市中区鴨江2-49-20

TEL 053-456-0051

RICOH・NEC・SHARP・AMANO

事務器・事務用品・スチール家具

有限会社 森 文

浜松市中区向宿3丁目9-4

TEL<053>461-1243 FAX<053>461-7248



【徹底した衛生管理】強電解水殺菌システム導入

ご家庭・地域の皆様へ事業所・オフィスまで
どちら様もお気軽にご相談・お電話下さい。

●幕の内弁当 ●仕出し料理 ●折詰料理

●オードブル ●洋食弁当 日替りお弁当

ご法事・お祝い・後会合・ご接待・行楽などに...

■定休日 月曜日 日曜日は前日までの予約注文のみ承ります

■営業時間 11:00~20:00(オーダーストップ19:30)

FAX053-453-8243 浜松市中区蛸塚3丁目8-39(蛸塚中学校前)

電話でのご予約は
24時間承ります。

053-453-8233

こだわりの
国産銘柄米
100%使用

タウンページも
ご覧下さい
[江戸松] 検索

天竜山間地と都会をつなぐサポーターズ倶楽部

◇古民家再生プロジェクト◇

古民家の調査、保全、紹介

山暮らし倶楽部

浜松市天竜区船明 1322 TEL 053-545-6902

バスのことなら遠江観光に
お任せください

国内旅行、海外旅行

(有)日本観光

島田 隆

遠江観光株式会社

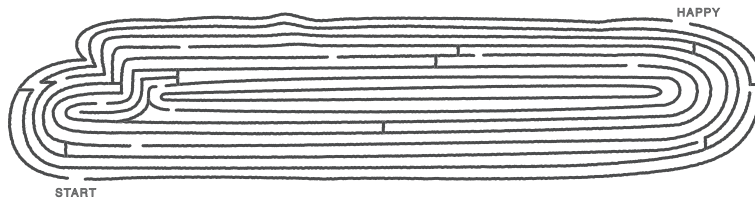
053-448-2121

TEL<053>473-2143

FAX<053>473-9128

携 帯 090-3385-7439

E-mail: nikkan-t@mail.wbs.ne.jp



浜名湖名産・夜のお菓子

抜け出せない美味しさ。

うなぎパイ

Print&Creation
広告する。

封筒や名刺などのビジネスツールから、チラシやDM、会社案内、
カタログなどの印刷物をコーディネート。
貴重な経験と知識を基に、デザインから印刷までお手伝いいたします。
またWebサイトやECサイトの企画・制作もトータルでサポートいたします。



- ◆各種印刷
- ◆デザイン構築
- ◆webサイト構築

有限会社 アイエヌジー
〒432-8056 浜松市南区米津町1180
TEL.053-441-5839 FAX.053-441-5839
090-5859-3336
E-mail/ ing@joy.ocn.ne.jp
URL/www.ing-ok.com



浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部
学生総合保険 取扱代理店

株式会社 エマ

浜松市中区元目町129-10オーリットビル2F
TEL(053)474-8200(代) FAX(053)474-8231
URL:http://www.ema-hoken.com

取扱保険会社
A I U 損害保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社
損保ジャパン日本興亜株式会社
大同生命保険株式会社
メットライフ生命保険株式会社
日本生命保険相互会社

栄電気工業株式会社

〒430-0947 浜松市中区松城町200番地の6(美術館前)
電話<053>454-8371(代) FAX<053>452-9351

株式会社 伸名産研

理化学機器、消防、給排水、設備施工管理

局所排気(環境改善)、空調(省エネ)、冷熱・冷温、

〒435-0047 静岡県浜松市東区原島町204番地 tel 053-464-4014



躍進する NIKKO グループ

太陽光発電・省エネ・電気・通信・情報・ITV・テレビ共聴
地上波デジタル・消防設備及びメンテナンス

日興電気通信株式会社

本社 浜松市北区大原町11番地 ☎(053)439-1125(大代) FAX(053)439-1135
静岡営業所 静岡市駿河区中野新田 57-60 ☎(054)266-6762(代) FAX(054)266-6763
東京営業所 東京都江東区牡丹1丁目15番5号 ☎(03)6411-1771(代) FAX(03)6411-1772

建築物・建造物の白アリ害虫駆除・清掃管理・清掃用品販売
株式会社サンワールド社

代表取締役 足立清二 (商I部21回卒)

浜松市南区下飯田町209

TEL<053>426-1121 FAX<053>426-2178

建築・設備塗装一般
有限会社 ユウキ

代表取締役 市川隆久

〒432-8002 浜松市中区富塚町130-12

TEL (053) 471-9810 FAX (053) 471-9813

携帯電話・事務機器・パソコン教室

ヤマサン商会

浜松市浜北区本沢合1069 TEL053-586-4133 FAX053-586-4380

パソコン特価で販売します。インターネット接続まで親切指導致します。



まつり衣装 日本の祭り®
氏原株式会社

浜松市東区神立町131-7 TEL 053-464-1234

E-mail omatsuri_ouendan@ujihara.co.jp



=== 地域社会に貢献する ===

視聴覚・情報通信・セキュリティ

電通システム株式会社

〒430-0853 浜松市南区三島町104-1
TEL 053-441-3911 FAX 050-3730-0882
http://www.dslab.co.jp



株式会社 アサヒナ

〒430-919 静岡県浜松市中区野口町391番地
TEL (053) 461-2910 FAX (053) 461-7954
E-mail: asahina@kk-asahina.jp



D-HEARTS

D-HEARTS・PLE葉WALK浜北店
〒434-8502 静岡県浜松市浜北区貴布祢1200番地 PLE葉WALK浜北114 tel・fax 053-585-7114
D-HEARTS・ららぽーと磐田店
〒438-0801 静岡県磐田市高見丘1200 ららぽーと磐田店1F tel・fax 053-38-4095
D-HEARTS・半田山店
〒435-0052 静岡県浜松市東区半田山6-8-1 tel・fax 053-432-2212 木曜定休



一般建築塗装・吹付け
株式会社 マルミ

〒431-3113 静岡県浜松市東区大瀬町2136
TEL. 053-545-6960 TEL. 053-545-6961

SPiC Salonは美と癒しと健康の「和」を楽しんで頂くサロンです。

SPiC Salon
スピックサロン 浜松西店

電話予約優先 浜松市西区雄踏町宇布見5147-1
☎ 053-596-0103 ☎ 0120-160103

FUJI xerox

富士ゼロックス静岡株式会社

〒430-0928 浜松市中区板屋町 506 番地
TEL 053-455-3161 FAX 053-455-3771

建築設計、監理



株式会社 ニキ計画工房

代表取締役社長 小 木 一 夫

浜松市中区曳馬五丁目24-50
TEL (053) 474-7640
FAX (053) 475-2175

かんばん



有限会社 キヨシ看板店 TEL 461-1945
www.kiyoshi.jp



静岡県 **セイブ自動車学校**

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510
TEL 053-485-5511 FAX 053-485-2500



静岡県 **セイブリフトスクール**

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510
TEL 053-485-5972 FAX 053-485-5973
URL http://www.kenseibu.co.jp



ISO 9001 : 2000
丸明建設株式会社

代表取締役 井 谷 安 秀

袋井市高尾町6番地の21 TEL (0538) 43-2221 FAX (0538) 43-2226
URL http://www.marumei.co.jp/

YAKINIKU CUISINE

サラン

浜松市中区住吉1-4-16 ☎ 053-474-7427

赤飯・折詰・弁当・料理仕出し



(有) 木 ち 泉 せん

浜松店 〒432-8011 浜松市中区城北1-25-13
TEL (053) 472-9623 (代)
浜北店 〒434-0044 浜松市浜北区内野4257
TEL (053) 586-5123 (代)
FAX (053) 586-6046



Nail salon Nagi

- ジェル(手足同一料金) (60分) ￥5,040～
- ネイルケア 10本 (45分) ￥3,240～
- カラーリング 10本 (30分) ￥1,620～
- アート 1本 ￥200～

【営業時間】

平日 9:00～18:30
土・祝祭日 9:00～17:30
日 定休日

TEL&FAX

053-458-9229 (予約優先)

浜松市中区領家1-12-15 YOHZU 202

地域の式場

お通夜から、ご葬儀まで…

浜松葬儀では、経験豊富な「厚生労働省認定資格取得/葬祭ディレクター」が、責任を持ってお世話致します。

お通夜・ご葬儀から法要まで、利便性に富んだ14の会場から、お選びいただけます。

はまそう会館
北区東三方町
天上界
☎053-437-1231

はまそう会館
中区高丘北
高 丘
☎053-420-4444

はまそう会館
中区向宿
浜松南
☎053-411-4444

はまそう会館
中区曳馬
曳 馬
☎053-476-4444

はまそう会館
東区篠ヶ瀬町
篠ヶ瀬
☎053-423-4444

はまそう会館
東区半田山
半田山
☎053-439-0964

はまそう会館
中区富塚町
富 塚
☎053-478-4444

はまそう会館
中区森田町
森 田
☎053-451-4444

はまそう会館
西区志都呂
志都呂
☎053-448-4444

はまそう会館
西区志都呂
志都呂東
☎053-445-4444

はまそう会館
北区細江町
細 江
☎053-522-4444

はまそう会館
北区引佐町
引 佐
☎053-542-4444

はまそう会館
西区館山寺町
館山寺
☎053-487-4444

はまそう会館
東区笠井町
笠 井
☎053-434-4444



浜松葬儀株式会社

浜松市北区東三方町76
URL: <http://www.hama-so.co.jp>

TEL(053)437-1231

建設・不動産

土地・建物（売買・賃貸借仲介）
事業用物件（店舗・事務所・工場・倉庫）



快適な住環境を、真心こめてお届けいたします。

有限会社 メークアイ

■宅建業免許／静岡県知事(4)第11349号

■建設業許可／静岡県知事(般-24)第29520号

☎053-466-6363

〒430-0901 浜松市中区曳馬四丁目9番31号

E-mail: makei@inh.co.jp FAX 053-466-6361



呉竹荘

〒432-8036

静岡県浜松市中区東伊場1-1-26

TEL 053-453-1511

FAX 053-456-0897



CROSSDEVICE

株式会社クロスデバイス

各種販促ツール

Webコンテンツの企画・制作

TEL:053-478-3388 FAX:053-478-3311

URL: <http://www.crossdevice.co.jp>

小籠包のうまい店

中国料理

華 都

・ ・ 食べに来て ・ ・

浜松市中区住吉3-12-1 TEL 474-0132

「あんなコトからこんなコトまで」

私たちはお客様の期待に応えるプロフェッショナルです。まずはご相談を。

「そうだ、桐屋に聞こう。」

【取り扱い品目】

一般伝票・連続伝票・OCR・会社案内・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・取扱説明書

DM・封筒・社内報・オンデマンド印刷・シール・ステッカー・ナイロン・ファイル・のぼり・看板・布印刷・シルク印刷

新聞広告・雑誌広告・ホームページ制作、運営・ラジオCM・CD制作・DVD制作・POP・ロゴ・パッケージ・広告の立案・制作・デザイン

桐屋印刷株式会社

〒432-8056 静岡県浜松市南区米津町1181

TEL. 053-441-4526 (代) FAX. 053-441-7809

URL <http://www.kiriyu.co.jp>



浜松学院大学教育後援会からのお知らせ

平成16年4月の浜松学院大学の開学に合わせて、「浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 教育後援会」が発足し、同窓会員のみなさまから多くの会費、寄付金を頂戴いたしました。その資金は、開学の際に必要な設備購入のために使用され、備品として大学に寄付させていただいております。

その後、教育環境整備のための支援を主な目的として、同窓会員を正会員とする後援会組織と、在学生に対する教育支援を目的とする保護者会組織を分け、現在に至っております。この機会をお借りして卒業生のみなさまにご報告させていただく次第です。

本会は、浜松学院大学の教育方針に則り、教育活動及び教育環境の整備をもって大学の教育成果の向上に寄与することを目的とし、その目的を達成するために次の事業を行ってまいります。

- (1) 教育に関する研究調査
- (2) 学生教育の振興に関する事業
- (3) 本大学の地域社会貢献に関する事業
- (4) その他必要と認めた事業

また、本会は次の会員をもって組織し、会費の納入をもって会員とします。

- (1) 正会員 本大学の卒業生（同窓会員と認められた者）
- (2) 準会員 興誠学園の役員
- (3) 特別会員 大学に勤務する教職員
- (4) 賛助会員 本会の趣旨に賛同する者
- (5) 協力会員 本大学に在籍する学生の保護者

同窓会員のみなさまには、是非とも母校発展のため、教育後援会会員としてご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

浜松学院大学教育後援会 会長 大村 弘 司

※ 事務局からのお願い

※ 上記の趣旨に賛同していただける方は、郵便振替払込書にて会費の納入をお願いしております。

- ・ 会費 1口 5,000円（できるだけ2口以上の納入をお願いいたします。）
- ・ 会費の納入をもって会員として登録させていただきます。

※ ご協力いただける方は、別紙郵便振替払込用紙に住所、氏名等をご記入いただき、本日総会・懇親会終了後のお帰りの際に受付までお申し出ください。
後日ご入会いただける場合は、ご面倒でも郵便局にてお支払いください。

※ お問い合わせ先

浜松学院大学教育後援会事務局（浜松学院大学短期大学部内） 電話(053)473-6100

ガリバー住吉バイパス店は 車の販売もNo.1 を目指します♪

ナンバーワン

いいこと
ありそう!!



ガリバーは修復歴(事故歴)のあるお車は販売しません。
最大10年の保証だから安心です。
買う時も買った後もガリバーは安心サポート。

あなたの欲しい車探しのお手伝いします。忙しい方もおまかせを！
ガリバー住吉バイパス店なら買った後も色々あんしん！ご相談下さい。

中古車・新車、新古車販売

株式会社ティ・エム・ワイ

ガリバー住吉バイパス店

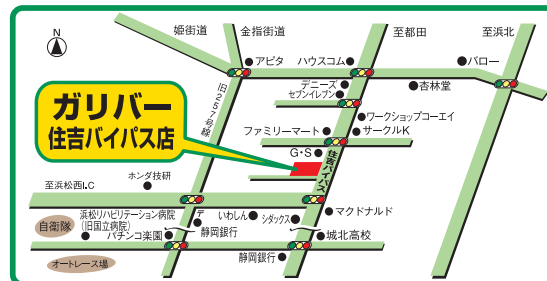
TEL:053-438-5252 (営業時間:AM10:00~PM7:00)

〒433-8113 浜松市中区小豆餅2丁目17-1



0120-12-2699

●名義変更手続き代行 ●車検・修理・钣金塗装 ●車買取 ●自動車保険
●支払いプランいろいろ ●10年間安心保証

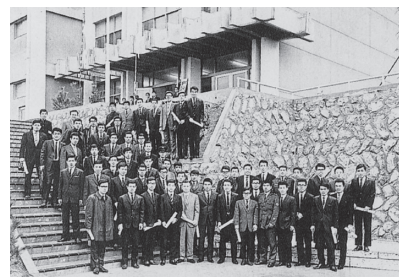


興誠学園のあゆみ

- 昭和8年11月 財団法人興誠商業学校設立認可 興誠商業学校開校
- 昭和19年2月 法人を財団法人興誠会に改組、戦時措置令により興誠航空工業学校に改称
- 昭和23年4月 新学制施行により興誠高等学校と改称、興誠中学校を併設
- 昭和25年12月 私立学校法制定により学校法人興誠学園に改組
- 昭和26年4月 浜松短期大学開学
- 昭和27年4月 浜松商科短期大学に改称、興誠商業高等学校に改称
- 昭和42年4月 浜松短期大学に改称、幼児教育科第一部、第二部開設
- 昭和48年4月 興誠高等学校に改称、浜松短期大学付属幼稚園開園
- 昭和61年4月 浜松短期大学に英語科開設
- 平成7年4月 興誠高等学校普通科を男女共学に
- 平成16年4月 浜松学院大学(現代コミュニケーション学部)開学、興誠中学校開校
- 4月 浜松学院大学短期大学部に改称
- 浜松学院大学付属幼稚園に改称
- 平成19年4月 浜松学院大学に子どもコミュニケーション学科開設
- 平成21年4月 浜松学院大学に地域共創学科開設
- 平成23年4月 浜松学院高等学校、浜松学院中学校に改称
- 4月 浜松学院大学付属愛野こども園開園



昭和42年頃の登下校風景



商科第2部 昭和42年度卒業生

興誠学園の教育研究体制



浜松学院大学

静岡県浜松市中区布橋3丁目2番3号
TEL 053-450-7000
FAX 053-450-7110



浜松学院短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号
TEL 053-473-6100
FAX 053-473-6196



浜松学院高等学校

静岡県浜松市中区高林1丁目17番2号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院中学校

静岡県浜松市中区高林1丁目22番5号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院大学付属幼稚園

浜松市中区住吉1丁目22番5号
TEL 053-472-5193
FAX 053-472-7080



浜松学院大学付属愛野こども園

静岡県袋井市愛野南2丁目2番3号
TEL 0538-44-7800
FAX 0538-44-7801

浜松学院大学

現代コミュニケーション学部
子どもコミュニケーション学科・地域共創学科



地域の課題解決に
貢献する
人材を育成!



〒432-8012
静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号
Tel.053-450-7000
<http://www.hamagaku.ac.jp/hamagaku>



〒430-0906
静岡県浜松市中区住吉二丁目3番1号
Tel.053-473-6100
<http://www.hamagaku.ac.jp/hamatan>

子どもと歩む
保育者に!



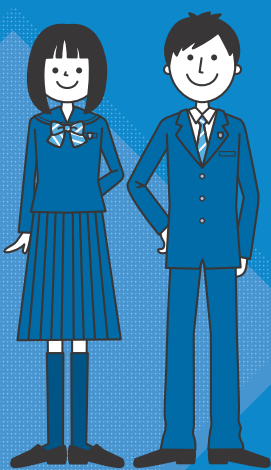
浜松学院大学 短期大学部

幼児教育科



浜松学院 高等学校

マイビジョン教育で
自分の将来をプロデュース
「輝く未来の一步を踏み出そう」



〒430-0907 静岡県浜松市中区高林一丁目17番2号
Tel.053-471-4136 <http://www.szo-kosei-h.ed.jp>

浜松学院大学 付属幼稚園



無限の可能性を秘めた子どもたちに
心豊かな教育を

〒430-0906
浜松市中区住吉一丁目22番5番
Tel.053-472-5193
<http://www.hamagaku.ac.jp/kinder>



浜松学院大学付属 愛野こども園



知恵と力を出し合い
生き生きと遊ぶ子を
育てます

〒437-0040 静岡県袋井市愛野南二丁目2番3番
Tel.0538-44-7800 <http://www.hamagaku.ac.jp/kodomoen>



学校法人 興誠学園

法人本部
〒430-0907 静岡県浜松市中区高林一丁目17番2号
Tel.053-473-6110
<http://www.hamagaku.ac.jp/kosei/>